



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月28日

上場会社名 株式会社 エスティック

上場取引所 東

コード番号 6161 URL <https://www.estic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘英

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 2022年2月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年3月21日～2021年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,379	8.9	942	22.9	997	29.7	681	31.7
2021年3月期第3四半期	4,019	23.5	767	48.9	769	48.1	517	47.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 732百万円 (39.6%) 2021年3月期第3四半期 524百万円 (47.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	68.67	
2021年3月期第3四半期	52.16	

(注) 当社は、2021年12月21日付けで普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。

これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	8,062	7,117	87.5
2021年3月期	7,491	6,526	86.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 7,051百万円 2021年3月期 6,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		61.00	61.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期(予想)期末の配当金については、2021年12月21日を効力発生日として普通株式1株を4株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。2021年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2022年3月期(予想)期末の配当金における年間配当金は64円00銭となります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月21日～2022年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,569	5.2	1,085	2.8	1,097	2.3	762	4.4	76.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2021年12月21日付けで普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割後の株式数により算定しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	11,768,000 株	2021年3月期	11,768,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	1,842,120 株	2021年3月期	1,852,356 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	9,920,828 株	2021年3月期3Q	9,915,905 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)当社は、2021年12月21日 付けで普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。
これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 国内市場

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、生産、消費、輸出や設備投資が持ち直し景況感は改善傾向を示すなか、国内における新型コロナウイルス感染症の罹患者が減少し経済活動の回復が一段と加速することが期待されましたが、海外において変異株による新たな感染拡大を示しており、先行き懸念状態が解消されない状況が継続しております。

そのような経済環境下、当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況につきましては、第2四半期に引き続き半導体供給不足を主要因に、その他部品供給も滞ることにより多くの自動車関連メーカーにおいて断続的に生産調整が実施され、今後の展開も不透明な状況が継続しております。また新型コロナウイルス感染症の再燃懸念もあり行動制限や接触制限を継続している客先も未だ多く存在しており、各社の設備投資の見通しが把握しづらい状況が継続しております。

品種別販売状況については工具系であるハンドナットランナは第2四半期に引き続き堅調に推移いたしました。機械設備系となるナットランナやネジ締付装置も足元の力強さはないものの第2四半期に比べ増加いたしました。

② 米国市場

米国経済は、新型コロナウイルス感染症が変異株により再拡大しており、堅調に推移しつつある経済の懸念材料となつてはいるものの、依然、消費は堅調で企業マインドも良好に推移しており、自動車産業をはじめ設備投資も底堅く推移しております。

品種別販売状況については、ハンドナットランナが米系自動車メーカーの新規ライン向けなどにより大幅に売上が拡大いたしました。また足元の受注状況も第2四半期に引き続き日系及び米系自動車メーカーや米系農機具メーカーなどを中心に堅調に推移しており、第4四半期も底堅い推移を予測しております。

③ 中国市場

中国経済は、夏場に一旦ペースダウンした景気は、輸出拡大や投資抑制策の緩和などもあり秋口より回復傾向にシフトしました。

品種別販売状況については、日系自動車メーカーを中心にハンドナットランナは第2四半期に引き続き堅調に推移しており、同じく日系自動車メーカーの設備投資によりナットランナ及びネジ締付装置の設備系も増加してまいりました。

④ その他の市場

その他市場の品種別販売状況については、タイ市場は新型コロナウイルス感染症の影響が継続しておりますが、徐々に経済活動は再開しており各品種とも販売状況は回復傾向にあります。インドネシアにおいては日系自動車メーカーの設備投資により当第3四半期はネジ締付装置及びハンドナットランナが堅調に推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上状況は、上記の市場環境により品種別販売状況については、ナットランナ、ハンドナットランナ、修理点検においては前年同四半期比増収、ネジ締付装置、サーボプレスは前年同四半期比減収となり売上高4,379百万円(前年同四半期比8.9%増)となりました。

利益状況は、比較的利益率の高いナットランナ、ハンドナットランナの売上が堅調に推移したことを受け売上総利益率が増加し、営業利益942百万円(前年同四半期比22.9%増)、売上高営業利益率21.5%(前年同四半期は19.1%)、経常利益997百万円(前年同四半期比29.7%増)、売上高経常利益率22.8%(前年同四半期は19.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益681百万円(前年同四半期比31.7%増)となりました。

地域別売上においては、国内市場でハンドナットランナやナットランナが堅調に推移したこともあり国内売上比率が増加し、海外売上高2,561百万円(前年同四半期比7.8%増)、国内売上高1,817百万円(前年同四半期比10.6%増)、売上全体に占める海外売上比率は58.5%(前年同四半期は59.1%)、国内売上比率は41.5%(前年同四半期は40.9%)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、8,062百万円と前連結会計年度末比571百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、現金及び預金が518百万円、土地が247百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が223百万円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、945百万円と前連結会計年度末比19百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、買掛金が105百万円増加した一方、未払法人税等が88百万円、賞与引当金が42百万円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、7,117百万円と前連結会計年度末比590百万円の増加となりました。増減の主な内訳は利益剰余金が530百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、2021年10月25日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,498	1,729,937
受取手形及び売掛金	1,509,134	1,285,609
電子記録債権	263,712	410,908
商品及び製品	490,622	456,347
仕掛品	253,697	219,149
原材料	1,233,105	1,186,303
その他	100,269	93,185
貸倒引当金	△1,782	△1,576
流動資産合計	5,060,257	5,379,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	812,654	780,721
土地	830,106	1,077,770
その他(純額)	134,390	134,293
有形固定資産合計	1,777,150	1,992,785
無形固定資産	46,627	49,331
投資その他の資産		
繰延税金資産	158,096	157,931
その他	450,119	483,528
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	607,415	640,660
固定資産合計	2,431,194	2,682,776
資産合計	7,491,451	8,062,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,915	230,737
未払法人税等	235,286	147,273
賞与引当金	64,315	21,606
役員賞与引当金	—	16,875
製品保証引当金	44,000	31,000
その他	238,454	214,239
流動負債合計	706,971	661,731
固定負債		
退職給付に係る負債	247,480	273,686
その他	10,261	9,648
固定負債合計	257,742	283,334
負債合計	964,714	945,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	641,141
利益剰余金	6,715,646	7,245,731
自己株式	△1,461,719	△1,453,738
株主資本合計	6,450,676	6,990,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,427	31,304
為替換算調整勘定	△17,773	29,868
その他の包括利益累計額合計	18,653	61,173
非支配株主持分	57,407	66,266
純資産合計	6,526,737	7,117,575
負債純資産合計	7,491,451	8,062,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月21日 至2021年12月20日)
売上高	4,019,570	4,379,077
売上原価	2,299,950	2,378,542
売上総利益	1,719,620	2,000,534
販売費及び一般管理費	952,531	1,058,162
営業利益	767,089	942,372
営業外収益		
受取利息	71	88
受取配当金	2,735	2,490
為替差益	—	28,264
持分法による投資利益	—	12,779
雇用調整助成金	11,880	9,932
その他	2,078	1,436
営業外収益合計	16,765	54,992
営業外費用		
為替差損	2,958	—
持分法による投資損失	11,797	—
その他	19	89
営業外費用合計	14,776	89
経常利益	769,078	997,275
税金等調整前四半期純利益	769,078	997,275
法人税等	238,852	305,490
四半期純利益	530,225	691,784
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,004	10,485
親会社株主に帰属する四半期純利益	517,221	681,298

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)
四半期純利益	530,225	691,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,332	△5,123
為替換算調整勘定	△18,961	22,471
持分法適用会社に対する持分相当額	1,240	23,545
その他の包括利益合計	△5,387	40,893
四半期包括利益	524,838	732,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516,170	723,818
非支配株主に係る四半期包括利益	8,667	8,859

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社グループの四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症について)

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の拡大または収束を予測することは困難な状況ではありますが、当社グループへの影響は限定的であるとの仮定に基づき、当連結会計年度における会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の終息時期は不透明であるため、今後の状況の変化によっては、連結財務諸表の作成に影響を与える可能性があります。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2021年11月5日開催の取締役会決議に基づき、2021年12月21日付けで株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

1 株式分割の目的

株式分割を行い、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的としております。

2 株式分割の概要

(1) 株式分割の方法

2021年12月20日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する当社普通株式を1株につき4株の割合をもって分割しております。

(2) 株式分割により増加する株式数

①株式分割前の発行済株式数	2,942,000株
②今回の株式分割により増加する株式数	8,826,000株
③株式分割後の発行済株式数	11,768,000株
④株式分割後の発行可能株式総数	20,000,000株

(3) 株式分割の日程

基準日公示日	2021年12月2日
基準日	2021年12月20日
効力発生日	2021年12月21日

3 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2021年12月21日をもって当社定款第5条の発行可能株式総数を変更いたします。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりです。

(下線は変更箇所を示します。)

現 状 定 款	変 更 後
(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は <u>5,000,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は <u>20,000,000株</u> とする。

(3) 定款変更の日程

取締役会決議日	2021年11月5日
効力発生日	2021年12月21日

4 その他

(1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。